

2014年7月24日 全6頁

Indicators Update

6月貿易統計

輸入の持ち直しにより貿易収支の赤字幅拡大

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 橋本 政彦

[要約]

- 2014年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.0%と2ヶ月連続の前年割れとなり、市場コンセンサス（同+1.0%）を下回った。輸出数量が同▲1.7%と2ヶ月連続で前年を下回ったことに加えて、輸出価格も同▲0.3%と2011年5月以来の低下となったことが輸出金額の減少要因となった。
- 6月の輸入金額は、前年比+8.4%と2ヶ月ぶりに前年を上回った。輸入数量が前年比+7.2%と3ヶ月ぶりに前年を上回ったことが主な要因。輸入金額を季節調整値で見ても、前月比+5.0%と3ヶ月ぶりに増加に転じた。輸入の高い伸びを主因に貿易収支は▲8,222億円の赤字と、3ヶ月ぶりに赤字幅が前年を上回った。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比+1.1%と2ヶ月ぶりの増加となった。米国向け（同▲0.1%）、アジア向け（同▲0.4%）がわずかながら減少する中、EU向けの増加（同+0.9%）が全体を下支えした。

貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2013年			2014年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出金額	18.6	18.4	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1	▲2.7	▲2.0
コンセンサス									1.0
DIR予想									2.2
輸入金額	26.3	21.2	24.8	25.1	9.0	18.2	3.4	▲3.5	8.4
輸出数量	4.4	6.2	2.5	▲0.2	5.4	▲2.5	2.0	▲3.4	▲1.7
価格	13.6	11.5	12.4	7.0	4.2	4.4	3.0	0.7	▲0.3
輸入数量	6.4	3.4	4.7	8.0	▲0.5	11.6	▲1.3	▲4.0	7.2
価格	18.7	17.2	19.1	6.9	9.6	5.9	4.8	0.5	1.1
貿易収支	▲11,004	▲13,011	▲13,072	▲27,950	▲8,047	▲14,507	▲8,149	▲9,108	▲8,222

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

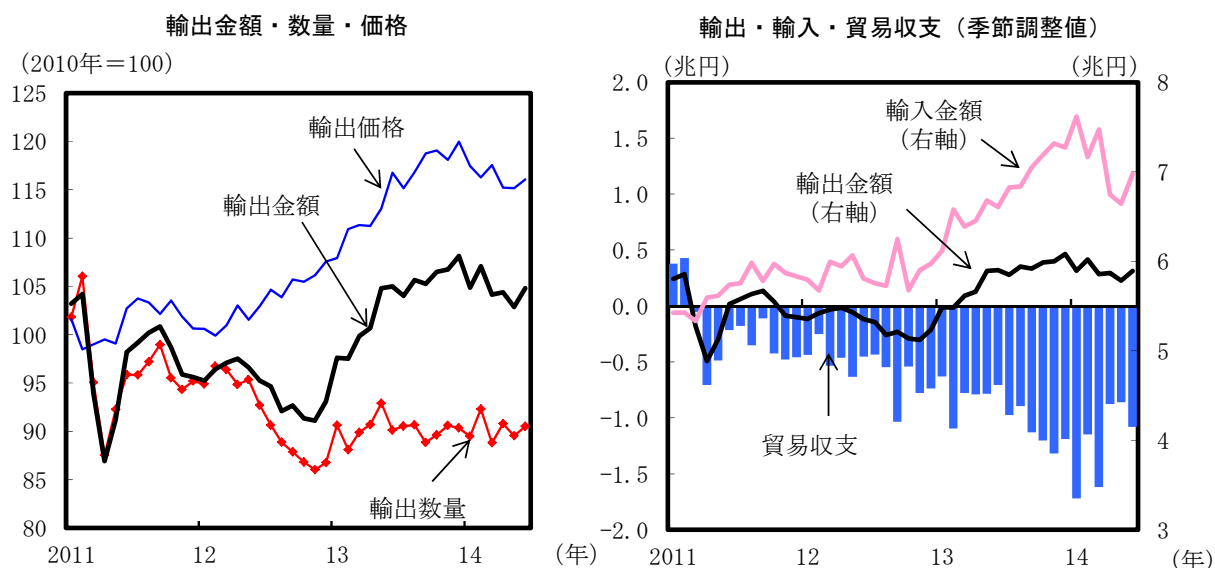
輸出金額は2ヶ月連続の前年割れ

2014年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.0%と2ヶ月連続の前年割れとなり、市場コンセンサス（同+1.0%）を下回った。輸出数量が同▲1.7%と2ヶ月連続で前年を下回ったことに加えて、輸出価格も同▲0.3%と2011年5月以来の低下となったことが輸出金額の減少要因となった。ただし、輸出金額を季節調整値で見ると、前月比+1.9%と2ヶ月ぶりに増加した。輸出価格の低下を主因に2013末以降、輸出金額は緩やかな減少傾向にあるが、6月単月で見れば輸出金額の水準が下げ止まった格好。

6月の輸入金額は、前年比+8.4%と2ヶ月ぶりに前年を上回った。輸入数量が前年比+7.2%と3ヶ月ぶりに前年を上回ったことが主な要因。輸入金額を季節調整値で見ても、前月比+5.0%と3ヶ月ぶりに増加に転じた。①2014年4月からの石油石炭税増税を前に急増し、増税後に大きく落ち込んだ資源輸入の反動減が緩和しつつあること、②消費税増税後の反動減から個人消費は徐々に持ち直しており、内需が拡大傾向にあることから、輸入数量に持ち直しの兆しが見られている。

輸入の高い伸びを主因に貿易収支は▲8,222億円の赤字と、3ヶ月ぶりに赤字幅が前年を上回った。また、季節調整値で見た貿易収支も▲1兆808兆円と、3ヶ月ぶりに前月から赤字幅が拡大している。

輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



EU向けの増加により、輸出数量は2ヶ月ぶりの前月比増加

輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比+1.1%と2ヶ月ぶりの上昇となった。米国向け（同▲0.1%）、アジア向け（同▲0.4%）がわずかながら低下

する中、EU 向けの上昇（同+0.9%）が全体を下支えした。

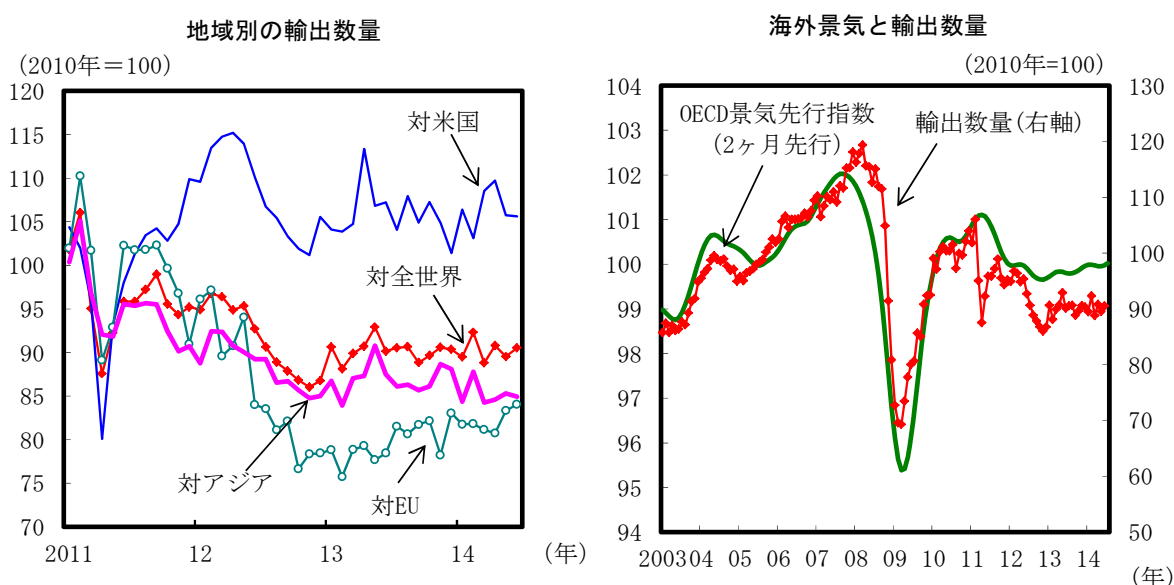
米国向けでは、前月減少していた自動車の輸出台数で持ち直しが見られた。一方で、素材および電子機器の減少が下押しとなった結果、輸出数量全体としては概ね横ばいとなった模様。EU 向けについては、これまで回復傾向が続いてきた自動車輸出で一服感がみられたものの、電気機器および一般機械の増加が全体を押し上げた結果、輸出数量は2ヶ月連続の増加となった。アジア向けでは、NIEs 向けを中心に主力の電子部品輸出が減少したことが全体の足を引っ張ったとみられる。

海外の需要回復に合わせて輸出数量も持ち直し傾向を強める公算

輸出数量の先行きに関しては、持ち直し傾向が徐々に鮮明となる見込みである。輸出相手別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費を背景に景気拡大が続いている。設備投資を中心とする企業部門の回復が本格化すれば、さらに日本からの輸入も増加するとみられる。欧州に関しても、緩やかながら景気は回復傾向を強めている。今後も景気拡大が続くと見込まれることから、EU 向けの輸出も増加基調に復する公算が大きい。欧米経済の回復に牽引され、アジア新興国経済も改善ペースを強めていくだろう。また、このところ停滞が続いていた中国についても、経済対策の効果等から持ち直しの動きが見られている。アジア向けに関しても、輸出は徐々に増勢を強めるとみている。

輸出数量の持ち直しによって、貿易収支の赤字幅は傾向的には縮小していく公算が大きい。ただし、内需の拡大に合わせて、輸入数量・金額も増加が続くとみられることから、貿易収支の早期黒字化は見込めず、当面赤字での推移が続く見込み。

地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量



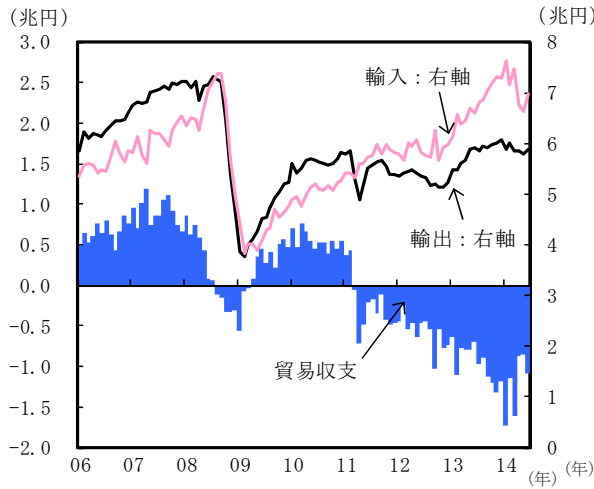
(注1) OECD景気先行指数 (CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

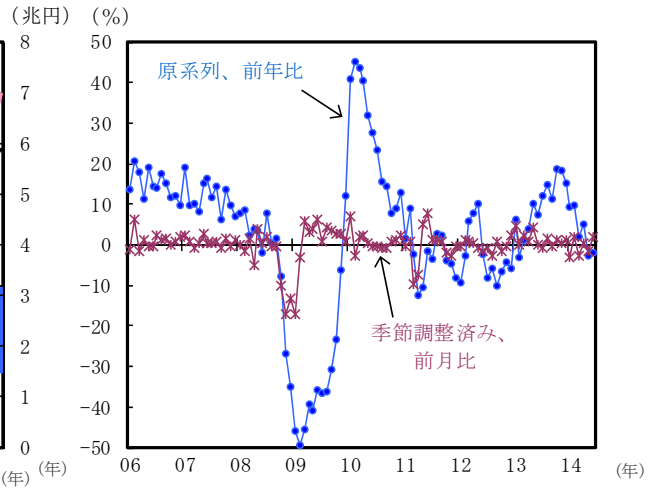
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

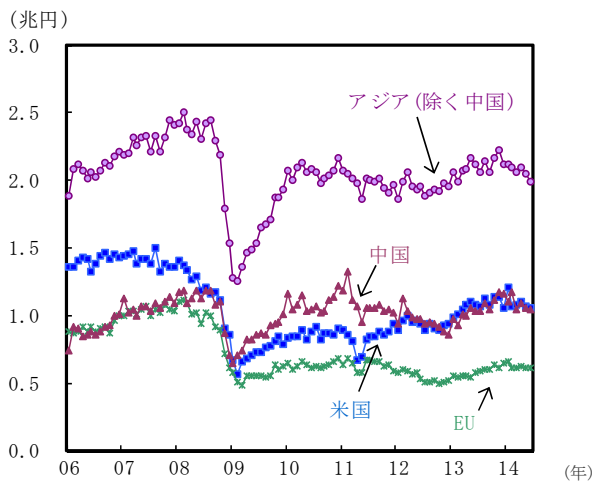


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

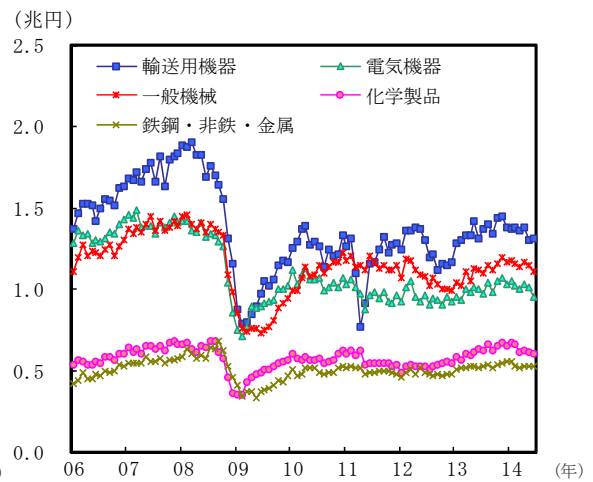


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

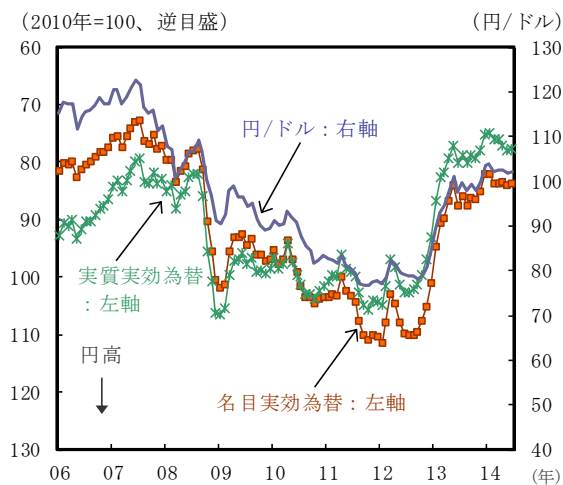


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

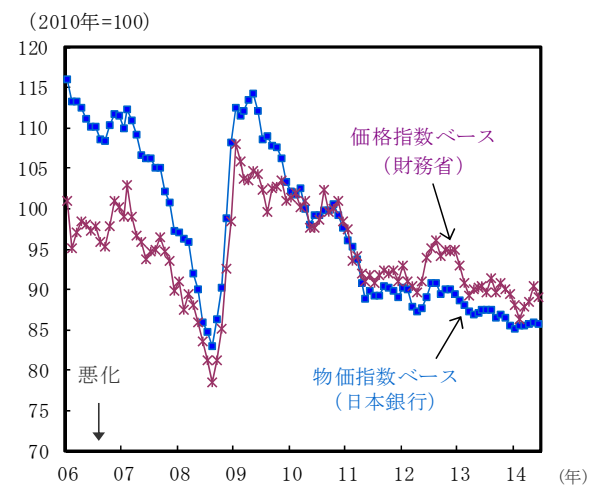


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.5	9.8	1.8	5.1	▲2.7	▲2.0	100.0	▲2.0
食料品	10.9	20.6	8.5	12.2	1.5	7.3	0.6	0.0
原料品	▲4.5	▲8.1	▲17.0	▲10.2	▲6.4	4.1	1.8	0.1
鉱物性燃料	54.3	75.9	31.2	13.1	▲45.9	▲18.3	1.8	▲0.4
化学製品	14.5	16.3	1.5	3.8	▲0.1	▲4.4	10.2	▲0.5
原料別製品	7.3	3.4	▲2.4	0.0	▲0.7	▲0.2	13.6	▲0.0
鉄鋼	14.5	4.2	5.4	▲4.0	▲1.4	▲0.4	5.6	▲0.0
非鉄金属	▲2.9	▲9.4	▲13.8	1.9	1.4	2.5	2.1	0.0
金属製品	8.7	11.7	▲1.9	12.8	0.9	2.6	1.7	0.0
一般機械	13.6	14.1	2.3	10.8	2.5	▲0.4	19.6	▲0.1
電気機器	10.2	10.7	0.4	5.3	0.6	▲5.1	16.8	▲0.9
半導体等電子部品	8.1	8.7	▲3.8	1.3	▲5.2	▲8.7	4.9	▲0.5
I C	5.8	8.0	▲6.1	▲2.1	▲9.0	▲11.0	3.3	▲0.4
映像記録・再生機器	▲14.5	7.7	▲9.2	▲3.7	▲15.1	▲29.7	0.6	▲0.3
音響・映像機器の部分品	0.2	▲8.6	▲3.2	▲18.3	▲9.9	▲21.4	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	13.8	9.5	▲4.0	7.5	3.9	▲0.3	2.5	▲0.0
輸送用機器	6.0	6.6	2.4	4.7	▲7.3	▲0.6	23.6	▲0.1
自動車	14.0	4.0	9.0	5.1	▲4.3	0.9	15.5	0.1
自動車の部分品	7.7	4.7	▲5.6	1.3	▲7.3	▲3.2	4.7	▲0.2
その他	2.8	4.1	5.4	3.9	▲0.7	▲0.7	12.0	▲0.1
科学光学機器	10.7	17.5	3.6	15.0	1.8	3.5	3.3	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.8	5.6	3.6	1.9	▲2.8	▲2.2	100.0	▲2.2
食料品	33.7	14.1	18.5	28.4	22.0	9.1	0.5	0.0
原料品	34.9	28.3	▲12.4	1.5	4.9	▲0.4	0.5	▲0.0
鉱物性燃料	▲41.9	336.5	682.0	▲29.7	▲96.3	▲28.9	0.7	▲0.3
化学製品	30.8	4.1	13.2	▲6.0	5.6	▲5.8	5.3	▲0.3
原料別製品	17.5	8.9	1.4	▲1.8	8.6	8.8	7.6	0.6
鉄鋼	20.4	14.2	11.5	▲18.8	29.9	18.0	2.2	0.3
非鉄金属	29.0	15.6	10.5	22.7	17.9	14.3	0.6	0.1
金属製品	23.8	2.2	▲13.6	2.8	▲5.1	12.6	1.7	0.2
一般機械	17.4	6.8	0.2	6.0	5.1	▲1.8	22.9	▲0.4
電気機器	20.9	4.8	▲1.1	1.8	0.4	▲4.3	13.8	▲0.6
半導体等電子部品	15.4	0.7	▲3.9	3.3	▲1.3	0.7	2.0	0.0
I C	11.6	▲0.2	▲7.0	▲4.6	▲7.7	▲2.7	1.1	▲0.0
映像記録・再生機器	▲6.9	▲1.8	▲12.5	▲10.6	▲23.7	▲45.6	0.6	▲0.5
音響・映像機器の部分品	17.7	▲23.7	▲16.2	11.8	▲5.8	▲12.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	25.9	12.7	▲7.1	▲3.6	1.8	▲6.3	1.4	▲0.1
輸送用機器	21.0	1.6	6.3	3.1	▲11.1	▲3.5	39.5	▲1.4
自動車	20.6	▲1.7	7.3	▲0.9	▲18.4	▲6.8	29.0	▲2.1
自動車の部分品	10.2	0.9	▲7.8	5.6	▲0.2	▲1.1	5.9	▲0.1
その他	35.8	14.4	4.4	▲2.1	8.6	1.9	9.3	0.2
科学光学機器	10.3	7.5	3.0	▲2.3	▲3.9	▲1.5	2.1	▲0.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	20.3	13.9	10.2	12.8	13.4	6.5	100.0	6.5
食料品	36.1	28.7	27.7	26.4	8.4	3.5	0.3	0.0
原料品	36.5	▲1.0	▲8.2	▲25.6	▲28.1	▲10.3	0.9	▲0.1
鉱物性燃料	13.2	337.2	▲78.9	72.0	42.1	▲71.8	0.1	▲0.2
化学製品	17.4	11.5	8.1	10.2	9.2	▲1.3	8.7	▲0.1
原料別製品	15.1	8.9	2.7	12.3	16.3	5.5	7.4	0.4
鉄鋼	66.6	45.1	27.9	▲6.3	41.4	8.6	1.0	0.1
非鉄金属	▲45.5	9.4	▲29.8	14.8	22.3	▲26.1	0.6	▲0.2
金属製品	14.4	3.6	▲1.9	14.3	8.3	11.1	1.6	0.2
一般機械	24.5	15.1	10.0	12.0	7.5	13.4	27.2	3.4
電気機器	24.1	10.6	7.1	15.0	13.9	1.7	20.1	0.3
半導体等電子部品	25.7	13.7	20.4	33.6	31.4	9.2	2.9	0.3
I C	29.7	17.8	14.2	40.8	43.4	16.8	1.9	0.3
映像記録・再生機器	9.4	9.2	▲22.2	21.5	▲4.7	▲46.7	1.0	▲0.9
音響・映像機器の部分品	10.3	▲10.7	▲33.7	▲63.5	▲28.9	▲49.8	0.5	▲0.5
電気回路等の機器	30.0	26.0	7.6	25.8	24.4	4.6	1.9	0.1
輸送用機器	22.6	30.7	25.3	14.7	25.1	21.3	21.0	3.9
自動車	53.7	47.6	83.4	48.9	51.2	59.7	14.0	5.6
自動車の部分品	▲13.5	▲4.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.3	4.5	▲1.0
その他	7.2	0.2	11.2	14.2	13.3	▲7.4	14.5	▲1.2
科学光学機器	8.8	7.6	▲1.7	15.8	3.3	▲7.1	3.3	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.8	12.5	1.4	3.6	▲3.4	▲3.8	100.0	▲3.8
食料品	3.0	23.3	5.2	8.9	▲2.9	7.6	0.8	0.1
原料品	▲11.6	▲11.0	▲18.8	▲10.5	▲5.3	5.0	2.8	0.1
鉱物性燃料	50.9	73.7	48.3	10.0	▲36.5	▲19.9	2.1	▲0.5
化学製品	12.5	17.2	▲1.1	4.2	▲2.0	▲4.9	14.2	▲0.7
原料別製品	3.1	2.4	▲5.0	▲1.4	▲3.3	▲3.2	16.8	▲0.5
鉄鋼	9.1	1.6	2.7	▲4.1	▲5.8	▲3.9	7.5	▲0.3
非鉄金属	▲1.9	▲10.0	▲22.0	▲3.7	▲4.2	▲0.8	3.2	▲0.0
金属製品	3.9	16.4	2.7	11.1	4.5	▲2.1	1.8	▲0.0
一般機械	7.4	18.8	5.2	12.1	1.6	▲4.1	18.6	▲0.8
電気機器	4.3	12.3	0.3	4.9	▲1.0	▲5.6	20.7	▲1.2
半導体等電子部品	6.4	9.7	▲5.2	0.0	▲7.1	▲9.4	7.7	▲0.8
I C	4.2	8.4	▲7.1	▲3.8	▲11.5	▲12.8	5.3	▲0.7
映像記録・再生機器	▲25.2	15.2	▲2.1	▲8.8	▲14.3	▲10.6	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	5.8	9.5	21.3	▲5.1	▲0.1	▲14.8	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	9.5	6.7	▲6.3	7.0	2.8	▲0.0	3.5	▲0.0
輸送用機器	7.0	17.6	0.5	▲4.6	▲8.3	2.7	9.7	0.2
自動車	10.6	27.7	14.6	11.0	8.6	21.1	4.8	0.8
自動車の部分品	4.4	▲1.4	▲9.9	▲5.3	▲9.6	▲7.2	4.0	▲0.3
その他	▲2.5	5.1	6.3	3.6	▲3.5	▲3.9	14.2	▲0.5
科学光学機器	11.8	24.5	6.4	17.2	1.4	6.5	4.4	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.1	27.6	4.3	9.7	0.3	1.5	100.0	1.5
食料品	8.8	16.4	8.1	35.5	0.1	21.8	0.3	0.0
原料品	▲24.3	▲9.9	▲22.1	▲13.9	▲8.3	▲2.5	3.7	▲0.1
鉱物性燃料	40.8	▲40.3	▲3.7	33.8	▲54.6	17.1	1.5	0.2
化学製品	19.4	24.8	2.6	4.9	▲4.8	▲3.6	14.9	▲0.6
原料別製品	3.7	19.9	▲2.1	3.5	1.8	3.8	13.9	0.5
鉄鋼	37.6	32.1	27.2	0.4	▲0.3	8.1	4.8	0.4
非鉄金属	▲27.7	▲9.0	▲27.6	8.1	7.1	15.4	2.9	0.4
金属製品	14.9	47.1	3.5	14.7	12.2	3.2	1.9	0.1
一般機械	11.1	39.0	6.2	18.8	1.4	▲4.4	19.3	▲0.9
電気機器	10.6	20.3	2.8	11.5	5.5	1.0	21.5	0.2
半導体等電子部品	6.2	4.5	▲12.8	▲7.4	▲10.0	▲12.0	6.6	▲0.9
I C	1.6	▲2.6	▲19.1	▲14.8	▲15.2	▲13.6	4.4	▲0.7
映像記録・再生機器	▲38.9	25.6	1.9	▲23.3	▲4.1	▲19.4	0.9	▲0.2
音響・映像機器の部分品	9.8	10.5	53.0	9.0	34.7	29.0	0.9	0.2
電気回路等の機器	20.5	19.1	▲2.5	24.9	9.7	13.7	3.8	0.5
輸送用機器	54.7	60.3	24.4	13.1	11.8	16.1	11.4	1.6
自動車	115.7	138.2	61.2	26.0	19.1	22.5	5.2	1.0
自動車の部分品	26.2	18.0	1.3	3.1	5.5	12.1	6.1	0.7
その他	10.4	35.5	8.5	9.5	▲2.1	3.3	13.5	0.4
科学光学機器	18.6	40.2	10.3	20.3	4.0	2.1	6.5	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成